この作業手順は、必ずトレーニングの受講に使用する PC、および、トレーニングを受講する場所（ネットワーク）で行ってください。
特に、会社内のイントラネットからアクセスされる場合、通信ポート (RDP ポート：49152~65535) の制限により、演習が実施できない事象が発生しております。ご受講いただく環境からテストしていただくことが重要です。下記手順を実行できない場合、オンライン環境でのハンズオン演習が行えないため、コースのキャンセルをお申し付けください。
すべての手順を行うには、おおよそ 15 分程度の時間が必要です。

内容

手順 1. Zoom へのアクセス テスト.....1

手順 2. Azure Lab Services へのサインイン.....1

手順 3. 演習用仮想マシンの起動とリモート デスクトップ接続.....2

手順 4. GitHub アカウントの取得.....5

注意事項.....8

ご準備いただくもの

- オープンなインターネット環境に接続できる PC 環境
- 本手順書

手順 1. Zoom へのアクセス テスト

1. トレーニング受講で使用する PC から Web ブラウザーを起動します。

2. Zoom テスト サイト（https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/）にアクセスし、指示に従って接続テストを行います。

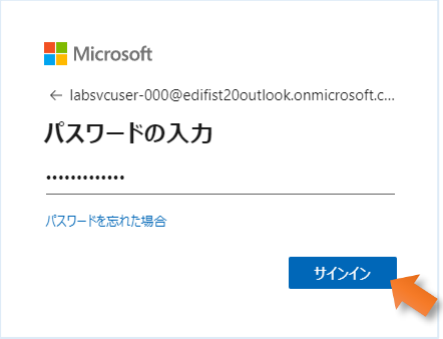
※ 受講当日の接続コードおよびパスワードは、別途ご案内いたします。

手順 2. Azure Lab Services へのサインイン

1. Azure のオンライン ラボ環境 (Azure Lab Services) に接続するため、Web ブラウザー (この手順書は、**Microsoft Edge** で記載しています) を起動して **https://labs.azure.com** にアクセスします。

2. Azure Lab Services へようこそと書かれたページが表示されますので、[**サインイン**] をクリックして、以下のテスト接続用アカウントを使用してサインイン操作を行います。

   - ユーザー名：**labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com**
   - パスワード：**Pa$$w0rd1234%**



手順 3. 演習用仮想マシンの起動とリモート デスクトップ接続

1. サインインに成功すると **Azure Lab Services** の画面が開き、[**自分の仮想マシン**] が表示されます。

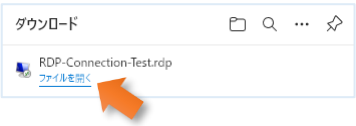
2. 接続テスト用仮想マシンを起動するために、表示画面の左下にある、[**停止**] スイッチボタンをクリックします。

⇒ スイッチボタンの表示が [**停止**] から [**実行中**] に変わります。

※ スイッチボタンが、既に [**実行中**] になっている場合は、この手順をスキップしてください。

3. スイッチボタンが [**実行中**] に変更されたことを確認し、右下の PC アイコンをクリックします。（PC アイコンにカーソルを合わせると、[**仮想マシンに接続する**] というポップアップが表示されます）

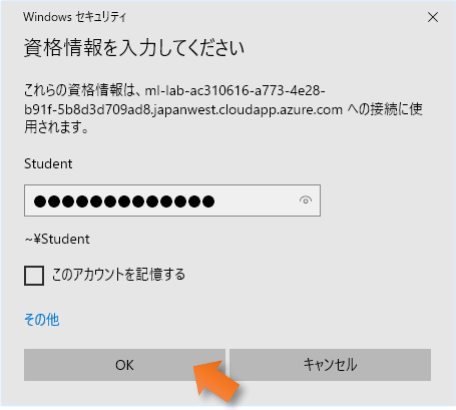
4. RDP-Connection-Test.rdp という名前の RDP 接続ファイルがダウンロードされるので、クリックして開きます。



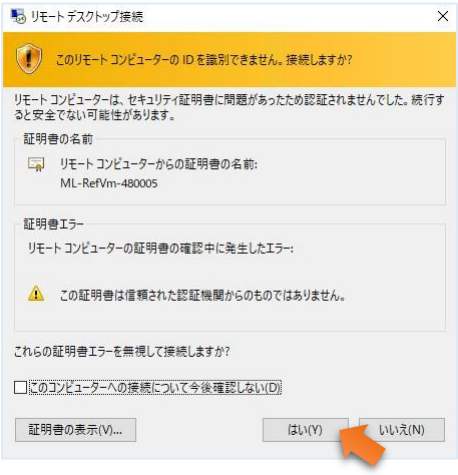
5. [**リモート デスクトップ接続**] で [**このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか？**] が表示されたら、[**接続**] ボタンをクリックします。

6. [**資格情報を入力してください**] が表示されますので、以下のアカウントを設定後、[**OK**] ボタンをクリックします。

- ユーザー名：**Student**
- パスワード：**Pa55w.rd2005!**



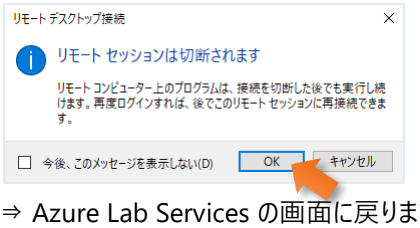
7. 「**このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか？**」というメッセージが表示されたら、[**はい**] ボタンをクリックします。



8. リモート デスクトップ接続の画面が表示されれば、Windows 仮想マシンへの RDP 接続のテストは成功です。

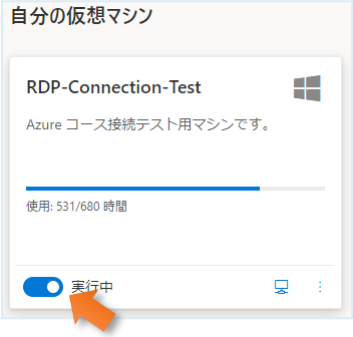
9. リモート デスクトップ接続のウィンドウを閉じます。

10. 「**リモート セッションは切断されます**」というメッセージが表示されたら、[**OK**] ボタンをクリックします。



⇒ Azure Lab Services の画面に戻ります。

11. Azure Lab Services の画面にある、自分の仮想マシンの [**実行中**] ボタンをクリックし、ステータスを [**停止**] に変更します。



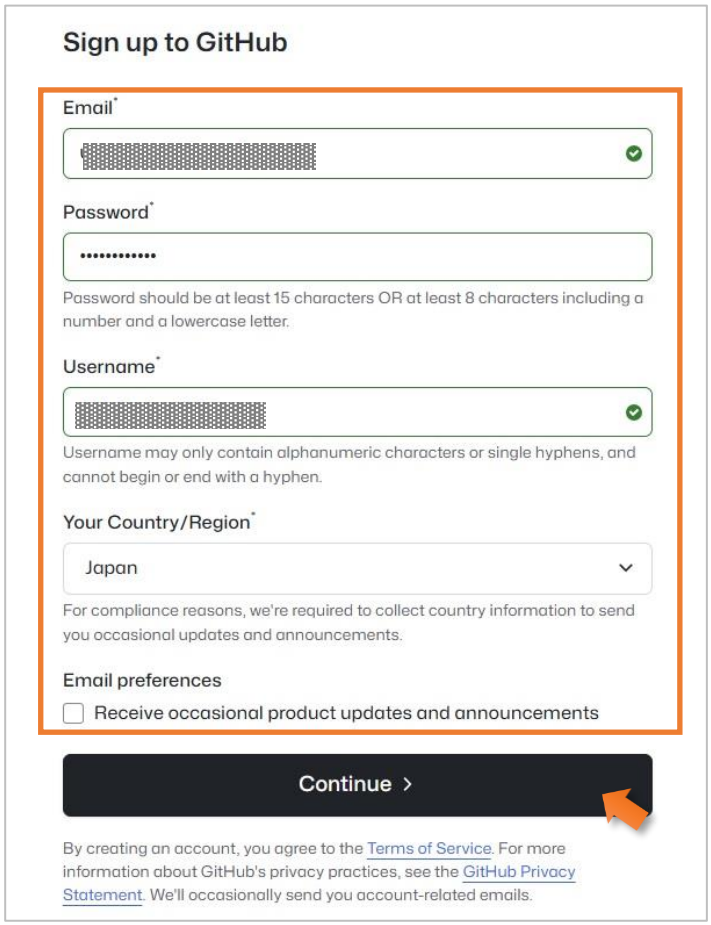
12. 仮想マシンが [**停止しています...**] という状態で Web ブラウザーは、閉じても大丈夫です。

手順 4. GitHub アカウントの取得

- すでに、会社で有償アカウントを取得されている場合でも、コース用に無償のアカウントを取得してください。
- 入力したメールアドレス、パスワードは、必ず記録し、コース受講中に参照できるようにしてください。

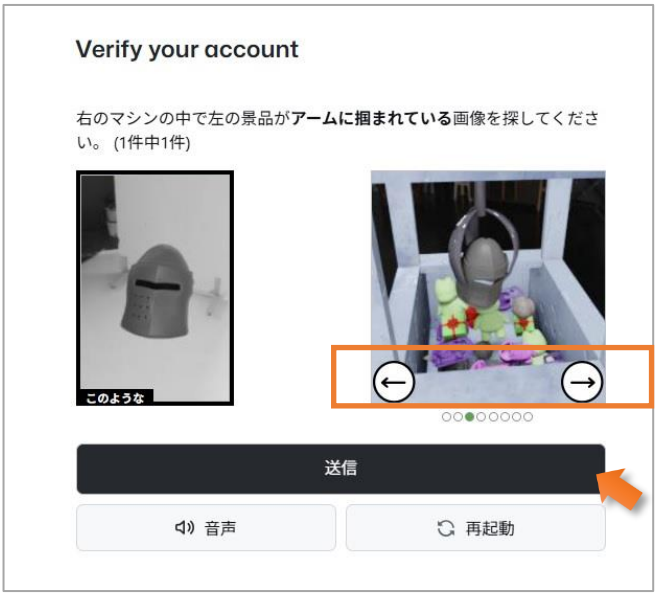
1. Web ブラウザーを起動して、GitHub Japan (**https://github.co.jp/**) にアクセスします。
2. 画面右上の [**サインアップ**] をクリックします。
3. [**Sign up to GitHub**] で、次の設定をし、[**Continue**] をクリックします。

Email	**ご自身のメール アドレス** （メール アドレスはコース中にアクセス可能なものを使用してください。）
Password	**任意のパスワード** （アルファベットの大文字や、小文字、数字、記号を組み合わせた 8 文字以上のパスワードを設定することをおすすめします。）
Username	**任意のユーザー名** （ユーザー名は、GitHub で他の利用者が使用していない名前である必要があります。）
Your Country/Region	**Japan**
Receive occasional product updates and announcements	GitHub から、アップデートやアナウンス メールを受信したい場合には、チェックボックスを**オン**にします。

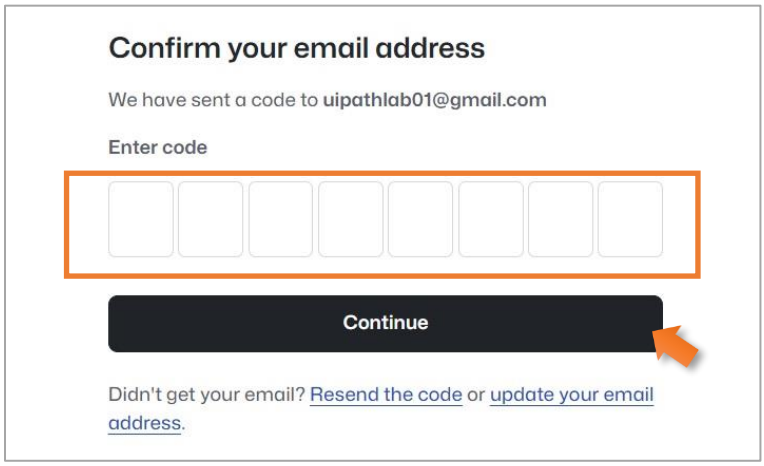


4. [Verify your account] で、[**視覚パズル**] をクリックします。
   （[**音声**]を選択して、アカウントの検証をしても、構いません。）

5. 指示に従い、右側の画像を切り替え、適切なものを表示したら、[**送信**]をクリックします。



6. [**あなたがロボットでないことを確認できました。**]と表示されたあと、［**Confirm your email address**］画面が表示されます。入力したメールアドレスに、GitHub から、認証コードが記載されたメールが送信されます。メールを確認し、[**Enter code**] に認証コードを入力し、[**Continue**]をクリックします。



7. [**Sign in to GitHub**] 画面が表示されます。入力したメールアドレスとパスワードでサインインします。

8. GitHub の Dashboard ページが表示されれば、作業は完了です。

注意事項

- 講師側の画面を表示しながら、演習作業やチャット操作を行えるように、追加の PC モニター、または、2 台目の PC やタブレットデバイスをご用意いただくことを推奨します。
- なお、Zoom 用と演習用で別々の PC を使用される場合、演習環境からも Zoom チャット操作を行っていただく場合があるため、研修で使用されるすべての PC から Zoom への接続をテストしておくことを推奨します。
- 取得した GitHub アカウントは、不要であれば、コース終了後に削除できます。削除の手順は、コース中にお伝えします。